



クリスマスコンサート新聞



実行委員会では、すでに8回の会議を終え、各自が着々と準備を進めております。今回は、実行委員長アンケートの最終回、野村主任のお話をお届けします。

【質問事項】

- ① 実行委員をやって良かったことは何ですか？
- ② あなたにとって、クリスマスコンサートとはどんな存在ですか？
- ③ 今年のテーマは『いのち輝くホスピタリティ』ですが、あなた自身の、「いのちが輝くこと」といったら何ですか？



初代女性委員長

歴代委員長アンケート 最終章



野村真実主任(薬剤部・2006年委員長) テーマ『ともに生きる

～あなたといるとあたたかい～』



① 患者様、ご家族、地域の方々、そして当院の職員がともに、ひとの温もり・ひとのつながりを感じられるひと時を過ごせるようにという目標に向かって、普段仕事では直接的な関わりが少い職種の人と、大きなことを作り上げられた喜びはとても大きかったです。そのプロジェクトを作り上げていく過程で、メンバーひとりひとりが目標達成のために自分は何ができるかを悩み、試行錯誤しながら一歩ずつ進んだ結果、予想をはるかに超えた発想、才能が発揮され、たくさんのすばらしい成果が生まれました。それらが生み出されていく時に立ち会えたこと、意外な才能や個性に出会えたこと、それらがブレンドされた時にひとりの人間では作れない妙味が生まれることを実感したことは、私にとって衝撃的な経験となりました。まさにその年のテーマでもあった『ともに生きる あなたといるとあたたかい』を私自身が一番実感できたのではないかと思います。

② もともとクリスマスは、イエスキリストの生誕という、希望が生まれた時だと思えます。病気を抱えた辛さ、それを支える家族の辛さ、仕事や人間関係の辛さなど、それぞれの苦難が渦巻く現代で、そのクリスマスという時に、コンサートを通して少しでも希望を感じていただけたら... 単に楽しいというのではなく、一筋の光のようなものを心に灯していただく場として、当院のクリスマスコンサートが存在し続けて欲しいと思えます。

③ 私自身が輝くとは、自分で感じることはないように思います。人との関係の中で、自分の存在している意味を実感できたときにふわっと湧いたものを、察知してくれる人が存在したら、その人が、『輝いている』と感じてくださるのではないのでしょうか。また、人への想いが強ければ強いほどお互いが共振していき、より一層輝きが増していくと感じていただけるのではないかと思います。



語り尽くせない...



歴代委員長シリーズいかがだったでしょうか？
質問は同じでも、3人それぞれの言葉で熱く語って
いただいて、とても興味深い読み物となりました。
本当にありがとうございました。
次回はハンドベルの特集をお届けします。
お楽しみに.....

川越胃腸病院 クリスマスコンサート実行委員会監修 編集YOKOTA

クリスマスコンサートまで



あと 50 日

50